

これからの社会と税

台東区立柏葉中学校 1年 本間 貴子

「あなたは、知っていますか？」

税金があるから今の社会があり、ここまで成長した今の自分があるということを、税金の大切さを…。

「この学校も、税金でまかなわれているんだよね…」

税金という言葉聞く度に、そんなことを考えてしまう。私が小学校高学年の時だ。上野法人会の方々が、税金の学習の講師として学校にいらしてくださり、私たちのような小学生も税金を納めていることや税金の使い道など様々なことを教えてくれた。その時に初めて、税金が私たちの通っている学校にも関わっていることを知った。そのことを知った時、正直言って、びっくりした。まさか、こんなにも身近な所に、税金が関わっているのだと、知らなかった自分が急に恥ずかしくなった。さらに、話は進んでいく。次第に私は恥ずかしいという感情だけでなく、また別の感情が出てくるのも感じた。

「税金って、必要ないんじゃないか。」

そう思っていた自分への怒りの感情だ。税金がなくなると、学校で学ぶにも、学費を払わなければならなくなるし、無償で配られていた教科書も、自腹で払わなければならなくなり、学校に来られなくなる人も、大勢出てくるだろう。そうなれば、学校に行ける人も限られ、きっと、つまらない。それに、生活もきっと、苦しくなるだろう。今、こうして家族や友人と楽しく話したり、美味しいご飯を毎日食べたり、公園などで遊んだり出来ているのは、全て税金のおかげだ。そして、ここまで私が成長できたのも、みんなみんな、税金のおかげ！！

税金でまかなわれているのは、学校だけではない。いつも、町の平和を守ってくれている警察署、病気になった時や怪我をした時、治りょうしてくれる病院、火事になった時、素早く消火して、みんなの命を守ってくれる消防署。そして、公園、ゴミ処理場、市役所など様々なものが税金でまかなわれている。そのことを知った時の私の心は、感謝でいっぱいだった。今でも忘れられないくらい。この先ずーっと、このことを忘れない。いや、絶対に忘れない！！私は、心の中でそう誓った。その時、私は初めて税金という尊い存在に気づいた。

その時の私には、いつも通りの街並みが、今日は何だか違う感じがした。たくさんの人々が行きかうこの町も、身近な所にたくさん税金が使われている。そんな税金の大切さに多くの人が気づき、税金があるから今があるということを、その税金への日々の感謝を忘れないでほしいと、心の中でそう、願った。長くなってしまったが、最後に一言、言わせてほしい。

「これからの社会は、あなたたちの税金が関わっている！！みんなで、より良い社会をつくっていきましょう！！」